



発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880

No.791

冬の裸木
樹形をあらわにし
寒風の中に
スツクと立つ
孤高の人のように

南澤 咲子



五行歌で 四季をうたう

〈五行歌とは〉思ったことをそのままのことばで、五行に表す新しい形式の歌。全音数や季語などの制限はありません。

こもろ五行歌の会

※写真撮影は会員の倉本妙子さん

「一年の計は元旦にあり」は新たな年を迎えるにあたり使われる諺です。一年間の目標や計画は元旦に決めるが良いということ。何事も最初に計画や準備が大切であり…。という意味のようで、由来については諸説あるようです。神社仏閣に二年参り、初詣に行き、ご家族の「無病息災」などを祈願し、自分に対して期するものがあるのではないのでしょうか。お正月に地域によって「獅子舞い」が行われます。伝統行事を継承することは地域の方々にとっては大変なことでもあります。演じている子どもたちの楽しんでる様子が感じられます。各家でも、お正月のしきたりがあり、次の世代に伝えることも大切な役割のひとつです。風揚げや羽根つきなどのお正月の遊びをしている子ども達の姿を見ることがあります。また、しめ縄作りや菰玉作りも生活の変化に伴い、家庭から地域で行っている伝承教室で体験するようになりました。これからも地域で昔の遊びや年中行事を楽しく体験する機会が増えれば良いと思います。

編集委員 柏木 俊男

